



夏祭りで地域と交流



▲祭りを盛り上げる「翔」の和太鼓演奏

きさら・ウインズの夏祭り

南あわじ市障害者福祉施設「きさら」と「ウインズ」(神代浦壁)で夏祭りが七月十五日、同施設で開催されメンバーの家族やボランティア団体、地域の住民ら約五百人が交流を深めました。夏祭りは両施設を運営する社会福祉法人淡路島福祉会が主催し、今回で六回目を迎え、地域の子どもたちも楽しみにしている恒例のイベント。

オープニングでは三原高校吹奏楽部が夕暮を背景にブラスバンド演奏。主催者のあいさつに続いて、志知高校和太鼓チーム「翔」が迫力ある音を響き渡らせ、祭りを盛り上げました。

同施設に通所するメンバーの家族やボランティアグループ、同法人職員らによる屋台や夜店、ゲームコーナーも開設され、多彩な催しを通して地域の人が施設を知る機会となりました。

化石発掘、宝探しのようじ

淡路ふれあい公園で化石発掘体験会

約七千万年前(白亜紀後期)の化石が眠る淡路ふれあい公園内の地層から、化石を掘り出そうと、子どもを対象にした化石発掘体験会が七月九日、同公園で行われ、約四十人が参加しました。

観察することが大切」など、発掘の手ほどきを受けました。

その後、目を防ぐ防護メガネをかけ、ハンマーを片手に、岩をコツコツと叩き発掘作業を行いました。子どもたちは、宝探しをするかのような表情を浮かべ、根気よく作業に取り組みました。そのかいあって、アンモナイトや二枚貝、植物の化石が数十個見



▲ハンマーで岩を砕き、化石を探す参加者

Vリーグ佐々木太一選手がやってきました

一流選手がスポーツの楽しさ伝える



▲佐々木選手からパスの方法を教わる子どもたち

元全日本バレーボールチームの佐々木太一氏が講師に招いて、スポーツ選手ふれあい指導事業バレーボール教室が六月二十四日、松帆活性化センター体育館で開催され、小学生五十人がスポーツの楽しさを教わりました。

同教室は、文部科学省と日本体育協会が推薦する、「子どもへの体力向上キャンペーン」の一環として、トップアスリートを講師に招き、スポ

ーツに親しんでもらおうと全国各地で開催されています。子どもたちは、ストレッチ体操や全身を使つてのボール投げなどの準備体操の後、レシーブの形、パスの仕方など一人ひとりが実技指導を受けていました。

佐々木選手からは、「ボールに触れることを楽しんでください。目標を持って、元氣よく声を出して、みんなでオリンピックを目指してください」とメッセージが贈られました。

成人式の実現に向けてチームワークづくり

新旧の成人式実行委員、市長らが交流

来年一月開催の南あわじ市成人式の企画を進めている成人式実行委員会が、七月十六日、慶野松原海水浴場で昨年度の実行委員や市長・教育長らと交流会を開催しました。

同実行委員会は、来年一月に成人式を迎える島内外在住の若者ら二十人で組織。毎月定期的に集まり、成人式の計画を立てています。交流会では、先輩となる昨年度実行委員長の上直生(なみなおき)さんから「サポートできることがあれば言ってください」と激励し、「成人式実行委員長」のたすきを引継ぎました。



▲交流会で先輩や市長らに自己紹介する今年度の実行委員

その後、お互いの親睦を深めようと、新旧実行委員・市長らが入り混じつてのビーチバレーやすいか割り、キャンプファイヤーなどで親睦を深めました。

副実行委員長の木下稔基(としき)さんは「集まりがあれば島外にいる人も帰ってきてくれてい



▲A4版37ページで87人を顔写真や功績などで紹介

冊子「浄瑠璃一路 阿萬郷の先人たち」を発行

亀岡浄曲会

淡路でも有数の浄瑠璃どころとして知られる、阿万と北阿万両地区の素浄瑠璃愛好家で作る「亀岡浄曲会」ではこのほど、素浄瑠璃の師匠や活躍中の人々を紹介する冊子「浄瑠璃一路 阿萬郷の先人たち」を発行しました。この冊子は、県の助成を受け千部を作成、関係者に配布されたほか、阿万地区公民館にも備えられています。同会では現在、さらに調査と資料収集を進め、淡路風浄瑠璃を録音し記録に残す活動に取り組んでいます。



▲サンセックMIHARAの皆さん

おめでとう

サンセックMIHARAが
ペタンク全国大会出場

ニュースポーツとして市内各地でも楽しまれているペタンクでサンセックMIHARA(B)チーム(島田孝さん、社家薫さん、榎本行市さん)が九月二十三日、高松市で開催される日本ペタンク選手権大会に出場します。

同チームは、スポーツクラブ21えびす(市川富夫代表)内で平成十六年十一月にチームを結成。週二回、市小学校グラウンドで夜間練習を重ねています。六月二十五日、北淡中学校で行



▲竹を割り流し素麺台を作る子どもたち

親子で自然に親しむ

里山基地で流し素麺

子どもたちに身近な自然にふれあい、様々な体験をしてもらおうと、AGN西淡(武田里美代表)ら有志により、3年前から伊加利で「里山基地づくり」が行われており、ツリーハウスや菜園づくりなどが進められています。7月9日の流し素麺には、親子30人が参加。基地の隣の竹やぶから竹を切り出し、流し素麺台や器、箸を作り、それらを使っておいしく素麺をいただきました。8月13日(日)にも同イベントを開催。申込みは武田さん(☎090-7553-9492)まで。



▲山本くん

山本哲也くんが、わんぱく相撲全国大会出場

七月三十日、東京の両国国技館で開催された「第二十二回わんぱく相撲全国大会」に、山本哲也くん(松帆小六年)が出場しました。山本くんは、五月五日に津名スポーツセンターで行われた「わんぱく相撲淡路場所」六年生の部で優勝を果たし、出場の切符を手に入れました。

七月十一日には市役所で壮行会が行われ、中田市長から激励を受けた山本くんは「一戦一戦を大切にしたい」と意気込みを語っていました。

大会前日には相撲部屋に宿泊し、プロ力士とも交流を深めることができました。